

経営比較分析表（令和2年度決算）

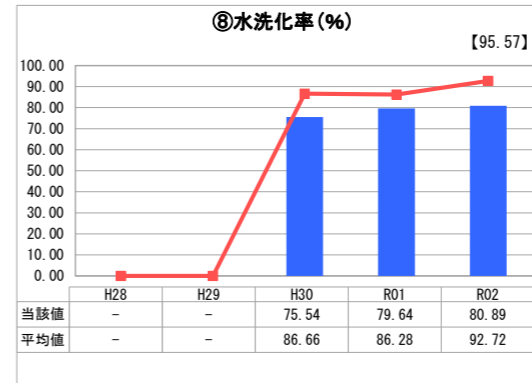
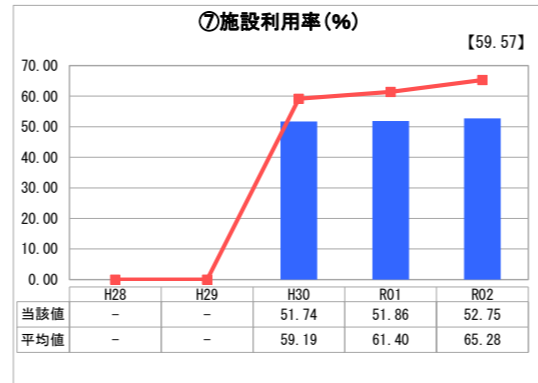
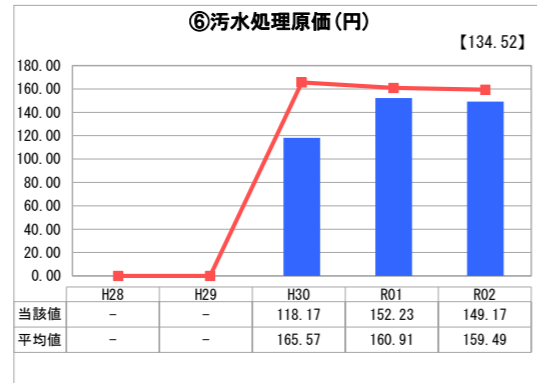
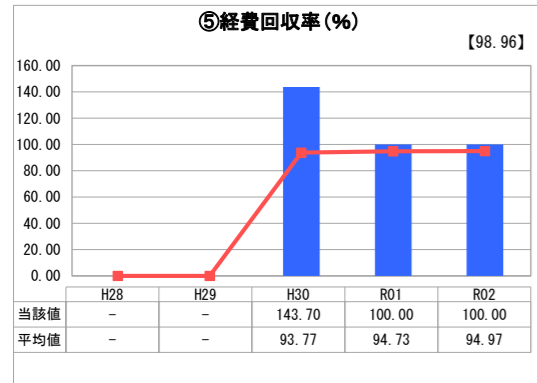
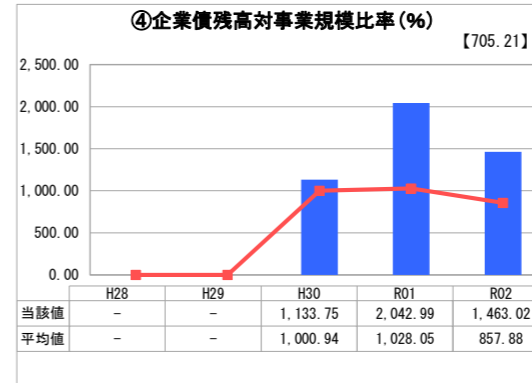
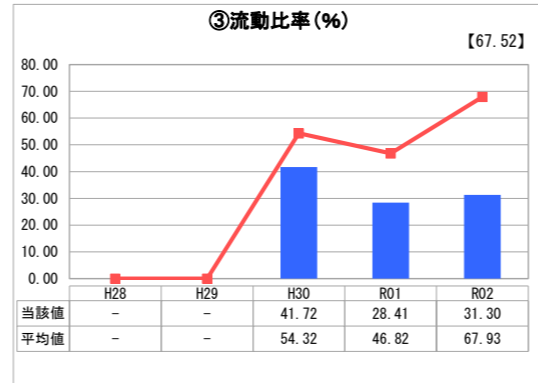
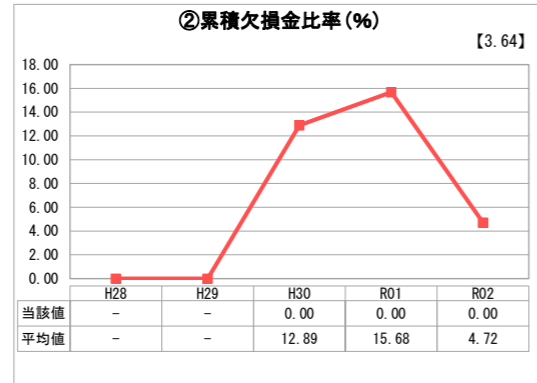
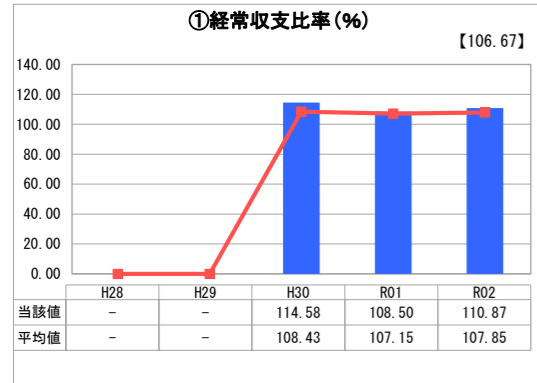
岡山県 津山市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	51.76	34.93	100.27	3,465

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
99,821	506.33	197.15
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
34,695	12.40	2,797.98

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

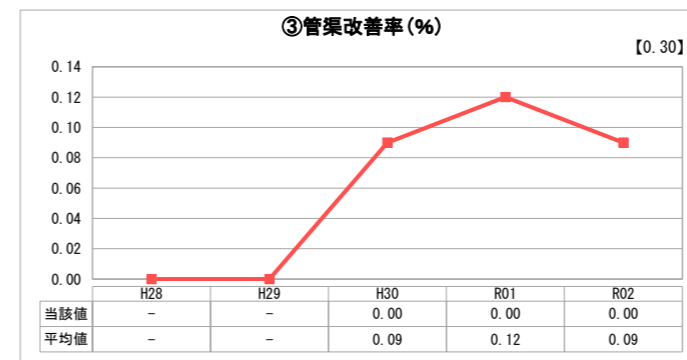
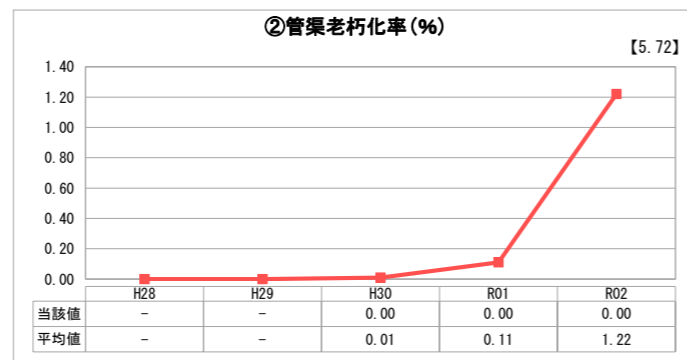
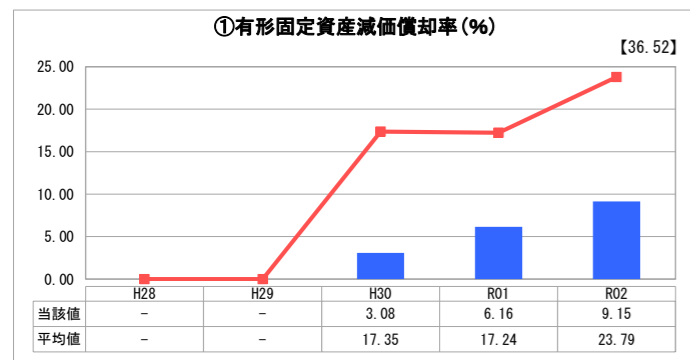
1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率
経費の削減など事業の効率化に努めた結果、100%を超えて推移しています。
 - ②累積欠損金比率
累積欠損金が生じていないため、0%となっています。
 - ③流動比率
企業債の償還残高が平成19年度の390億円をピークに減少しているものの、依然大きな割合を占めており、100%を下回る要因となっています。
 - ④企業債残高対事業規模比率
企業債残高の減少により、前年度より減少しています。
 - ⑤経費回収率
平成30年度以降、100%以上で推移しており、汚水処理費用を回収できています。
 - ⑥汚水処理原価
汚水処理費用の減少と有収水量の増加により、類似団体平均値と比べ、低コストで処理が行われています。
 - ⑦施設利用率
類似団体平均値を下回るものの、1日あたりの処理量は増加しており、施設利用率は続伸しています。
 - ⑧水洗化率
類似団体平均値を下回るものの、水洗便所設置済人口が増加していることにより、水洗化率は続伸しています。
- ※平成30年度から公営企業会計に移行したことに伴い、平成29年以前（法非適）の数値はこの分析表に掲載されていません。

2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率
既に稼働している資産の減価償却累計額の増加に伴い、有形固定資産減価償却率も上がっています。
- ②管渠老朽化率、③管渠改善率
法定耐用年数に達した管渠がないため、老朽化対策は行っていません。しかし、機械設備・電気設備には耐用年数を経過している施設もあり、平成30年12月に作成した「下水道事業ストックマネジメント基本計画」に基づき、長寿命化を含めた対策を行っています。

2. 老朽化の状況



全体総括

平成30年度に公営企業会計に移行したことに伴い、経営戦略を抜本的に見直しを行います。新たな経営戦略では、料金水準の見直しに先立ち、水洗化率向上へ向けた取組、維持管理費を削減する取組による経営改善について、目標を設定し、事業を継続できる財政基盤の強化を図ります。

本市の下水道整備率は、全国的に低い水準にあります。岡山県都道府県構想（クリーンライフ100構想）の見直しを図る中で、未整備地域の解消、合併処理浄化槽補助事業の推進により、水洗化率の向上を目指します。

また、「下水道事業ストックマネジメント基本計画」に基づき、効率的な施設更新に取り組みます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。